

10 月 7 日(木曜日)2 か月ぶりにモリメイト活動再開!

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 11名】



コロナ感染拡大によりモリメイト活動が中止となった 8 月、9 月。10 月になりやっと再開することができた。

活動拠点であるモリメイトフィールドは予想通り雑草に覆われていたので、さっそく刈払い機と手鎌で草刈りに取りかかった。クヌギの植樹地、11 月の植樹予定地、花菖蒲園を中心に伸び放題の草を刈っていった。長く伸びていたこともあり、刈払い機に草が刃に絡まることが多くてこずったが 11 人の馬力はすごいものである。この日の活動だけで草だらけのモリメイトフィールドがすっきり、気持ちのいい空間になった。

10 月 14 日(木曜日) 植樹予定地の整備が進む

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、中 計 10 名】

植樹予定地内の樹木を除伐。

除伐したコナラをシイタケの菌打ち体験の時の原木にするため、適当な太さのものを 1m の玉切りにする。



「第 7 回くぬぎの森づくり」の看板を設置する。



モリメイトフィールドを流れる小川に架かる橋が流されたため架けなおす。



10 月 21 日(木曜日)今日の主役・チップパー機

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、中 計 10 名】

今日のモリメイト活動の主役はチップパー機であった。ほぼ 1 年ぶりの登場にもかかわらずその活躍は目覚ましかった。モリメイトが次々に運んでくる枝葉をのみ込み、精力的に粉碎し、チップにしていった。



先週除伐した大木のコナラ(幹部分は直径 30 cm はある)の処理をする。



10月28日(木曜日)

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 11名】

あれから16年！ ドングリから育てた木でほだ木が！

今回、16年目にして、ドングリから育てた木を4本伐採してほぼ30本のシイタケのほだ木を作ることができた。

モリメイト発足当時のメンバーである芝田香象さんがこんな話をしてくれた。



今、伐採したクヌギはね、2005年10月、森の音楽会に来てくれた人にクヌギのドングリの実110個を駐車場の片隅に植えてもらったものなんです。そして2008年の11月に大きくなった苗木110本を掘り上げ、そのうちの54本をモリメイトフィールドの一角(今回伐採した場所)に移植したんです。でも、シカに食べられたり、草刈りの時に草と一緒に刈り取ってしまったり、湿地に植えたものは成長せずに枯れたりして最終的に残ったのは16本だけでした。今回、ほだ木にできるまで成長し、4本伐採して30本のほだ木が取れて活用できる。私の約20年の里山活動でも初めての画期的なことで感無量です。来春、この切り株から萌芽してくれるのが楽しみです。



現在準備している「くぬぎの森づくり」のクヌギも何年か後にはシイタケのほだ木になるか、炭を作り燃料になるか、薪ストーブなどの燃料になるか……様々に活用されていることでしょう。

私はこの光景をどこで見ているのでしょうかね。天国か地獄か、別世界から見ていることになるのかな。

(森林公園に来てその目で見ておられると思います。)



植樹予定地の整備完了

最後に植樹する位置が分かるように、先に赤いテープを巻いた竹を30本立て、植樹予定地の整備が完了した。

その後、チップper機を移動させながら、モリメイトフィールド周辺に散在している枝葉を集め、チップperにしていた。粉碎した粉が舞い上がり、目や口、鼻に入らないようにマスク、眼鏡をしながらの作業であった。それぞれが機転を利かせて効率よく動き、周辺はすっきり整備された。

「第7回くぬぎの森づくり」の参加者にも気持ちよく植樹してもらうことができ、森づくりの大切さを感じてもらえるだろう。

